山口宇部

vol.

65

2024 May

療セン take free

病院敷地内に咲いている桜の風景です



患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく 医療を提供します。

#### 基本 方針

- 1. がん、呼吸器疾患の専門病院として、 高度で専門的な医療を提供します。
- 2. 重症心身障害児(者)の専門施設として、 きめ細やかな医療と療育を提供します。
- 3. 十分な説明と同意に基づいた患者中心の 医療を実践します。
- 4. 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
- 5. 地域医療連携に努め、医療従事者、 地域住民の医学教育、研修を行います。



#### 独立行政法人 国立病院機構

### 宇部医療センター

山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

〒755-0241 山口県宇部市東岐波685番地 TEL.0836-58-2300(代) FAX.0836-58-5219



https://yamaguchiube.hosp.go.jp/



## 就任のごあいさつ

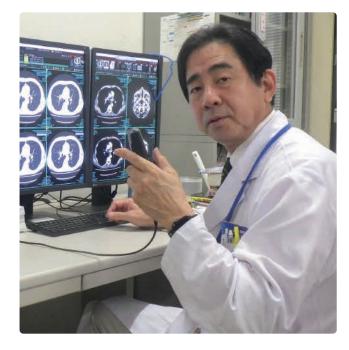
副院長 田中 伸幸

このたび、独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センターの副院長を拝命いたしました、田中伸幸です。

放射線科医師として呼吸器疾患の画像診断を専門に行っております。エビデンスに基づいた呼吸器画像診断を行うことにより、当院で一生懸命に働かれている内科、外科の先生方を画像診断の面から強力にサポートできるよう尽力しています。

副院長の立場としましては、医療安全、院内感染対策が重要な仕事ですので全力で職責を果たしてまいりたいと考えております。

また、統括診療部長就任時から地域医療連携室長も兼ねております。近年は地域医療連携の重要性が 非常に強調されてきており、近隣の地域医療に貢献されている医療機関との連携を密にしながらお互いに 助け合い、お互いの医療機関にとって、プラスになるよ



う、地域医療に貢献して参る所存ですので、今後とも よろしくお願いいたします。

## 就任のごあいさつ

統括診療部長

#### 青江 啓介

2024年(令和6年)4月1日より、国立病院機構山口宇部医療センターの統括診療部長を拝命いたしました。これも皆様のご指導、ご協力の賜物と大変感謝しております。

私は1997年(平成9年)6月に国立療養所山陽荘病院に内科医として赴任しました。同年7月に国立湯田温泉病院と統合され、国立療養所山陽病院となりました。その後病院名も体制も変化し、独立行政法人化を経て現在の国立病院機構山口宇部医療センターに至っております。長年勤務して病院名や体制が変わってまいりましたが、山口県の呼吸器疾患診療における重要な拠点医療機関としての役割は一貫して継続されてきたように思います。

私自身は主に呼吸器悪性腫瘍(肺がん、胸膜中皮腫)の診療を中心に行ってまいりました。また、当院の緩和ケア病棟は、山口県内で最初に緩和ケア部門として保険診療が認められた病棟で私も開棟した当初、緩和ケア業務にも携わらせていただきました。

肺がん診療では、新規薬剤として分子標的治療薬、 免疫チェックポイント阻害薬などが導入され、時には 他の医療機関に先駆けて治験を行い、積極的に新規 治療の開発にも関与してきました。アスベストが注目



されるようになると、アスベスト相談の窓口を担当させていただきました。私としても病院としても地域からの期待に応えられるよう努めてまいりました。また、病院全体をみてみますと、重症心身障害児(者)に対する専門医療機関としても唯一無二の機能を果たしています。

今後とも、当院が地域からの信頼と期待に応えられるように、できるだけのことをしていきたいと思います。 ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

# **新採用医師紹介**



呼吸器科医師

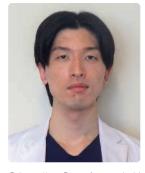
久本 優佳里



[診療抱負] 呼吸器内科を専門としております。呼吸器疾患 (肺癌、間質性肺炎、慢性閉塞性肺障害、喘息、 慢性下気道感染症など)を抱える患者さんは日 常でも咳や呼吸困難などがあり、日常の生活で も多くの困難を抱えられていると思います。少 しでも日々の生活が楽になるようにサポートさ せていただきたいと思っておりますので、お困 りのことなどあれば、おっしゃっていただけたら

と思います。

[自己紹介] 佐賀市出身です。山口大学医学部で学生時代 を過ごし、昨年度まで山口大学呼吸器・感染症 内科で勤務しておりました。患者さんにベストな 治療を提供し、患者さんの人生をサポートでき るように精一杯努力し、皆様のお力になれるよ う精進していきますので、どうぞよろしくお願い します。



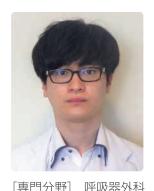
呼吸器科医師 米澤 恒成

「専門分野」 呼吸器内科

標準治療を基礎としながら、患者さん個々の状 「診療抱負」 況にあわせた柔軟な診療を心がけます。

[自己紹介]

山口大学医学部附属病院 呼吸器 · 感染症内科 から山口宇部医療センターへ転勤になりまし た、米澤と申します。医師としてまた人間として も、成長できるよう邁進していく所存でござい ますので、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願 い申し上げます。



呼吸器外科医師 沂藤 重

「専門分野」 [自己紹介]

令和6年4月からNHO岩国医療センターより 参りました近藤薫と申します。医師として5年 目、外科医としては3年目でありまだまだ学ぶこ とが多く、とてもやりがいのある仕事と感じてい ます。患者さん一人ひとりに寄り添った医療を 提供できるように日々精進してまいります。半年 間と短い期間ではございますが、機会があれば 何卒宜しくお願い申し上げます。



放射線科医師 神谷 正喜

「専門分野」 [専門医等] [診療抱負]

放射線科

日本医学放射線学会 放射線診断専門医

長年の経験と知識で培った胸部領域の読影力 を活かして、皆様のお役に立てるよう努力いた します。

[自己紹介]

医師13年目、放射線科医としては11年目とな ります、神谷正喜です。昨年度は山口県立総合 医療センターに勤務しておりました。長年の経 験と知識で肺の読影には自信があり、さらに技 術を磨いていく意欲を持っています。これまで 当院に勤務された放射線科の諸先輩方の経験 と知識を尊敬し、その姿に学びながら私も成長 していきたいと思います。皆様の診療のお役に 立てるよう頑張りたいと思います。

# 新採用職場長等紹介



管理課長 **岩井 睦司** (いわい むつじ)

この度、4月1日付にて、四国の東徳島医療センター(現とくしま医療センター東病院)より参りました。山口県の施設は初めて

で、転勤は10施設目となり、これで、中国地方はコンプリートとなりました。当院は、がん、呼吸器疾患の専門病院であり、特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)となっております。それにより地域市民の皆様に、市民公開講演会として「がんフォーラム」「呼吸器フォーラム」を開催しており、その業務に携わることとなります。患者さん、地域住民の皆様にとってより良い病院にしたいと思っております。早く新しい業務に慣れて一生懸命頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。



経営企画室長

**已波 寛典**(みなみ ひろのり)

この度、4月1日付で四国がんセンターから赴任して参りました巳波と申します。山口宇部 医療センターで勤務することだ

けでなく、山口県内の施設で勤務することも初めてで、人生の中で最西端の土地での生活となります。また、今までは比較的山沿いの病院で勤務してきましたが、目の前に海が広がっている病院での勤務も初めてとなります。

新しい環境に早く慣れ、事務職員の視点から病院経営に 積極的に貢献できるよう全力で努めます。よろしくお願いい たします。



副看護部長 **妹尾 友美** (せのお ともみ)

4月1日付けで岩国医療センターより転任してまいりました 副看護部長の妹尾友美と申します。病院から見える桜並木や 海岸が素敵で心が癒されています。

患者さんが持っている力を最大限に発揮でき「その人らしい生活」を送ることができるように、患者さんやご家族に寄り添った看護を行うことができる看護部となるよう努力して参りたいと思います。

皆様からのご支援とご指導のほどよろしくお願いいたします。



副薬剤部長林 俊吾(はやし しゅんご)

この度、4月1日付で関門医療センターより赴任してきました。山口県出身で岩国、柳井、関門と渡り歩き、山口宇部で県内の施設全てを経験することになります。山口宇部医療センターから見える木々と海に環境の良さを感じます。

副薬剤部長としては初めての赴任となりますが、新たな挑戦を通じて成長し、スタッフと協力して全力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



5階病棟 看護師長 並 杏子 (なみ きょうこ)

この度、4月1日付で岩国医療センターより転任してまいりました5階病棟看護師長の並杏子です。山口宇部医療センターから見る海岸や桜並木とスタッフの方々のお気遣いで赴任初日からの緊張も和らぎ、このような環境で働けることをうれしく思っています。

患者さんに安全で安心できる療養環境が提供できるよう、 スタッフと協力しながら取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



手術室·中材 看護師長 **福原 輝宣** (ふくはら てるのぶ)

4月1日付けで、広島西医療センターから赴任して参りました。山口宇部医療センターの桜並木とそこから見える海の景色が幻想的で感動しました。この環境で働けることを嬉しく思います。

スタッフと共に患者さんの手術が不安なく安全に受けられるように精一杯頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。



# 4階病棟

4階病棟師長 **酒見 博之** 



4階病棟は、呼吸器内科・腫瘍内科の病棟です。 肺がんを中心とした悪性腫瘍の診断、検査、治療、化 学療法、放射線療法、免疫療法をはじめ、疾患や治療 に伴う痛みや吐き気、食欲低下などの症状緩和など、 患者さんの病状に合わせた看護を行っています。

また、間質性肺炎や細菌性肺炎、慢性呼吸不全患者さんの呼吸管理や在宅酸素療法の導入、呼吸リハビリテーションを行っています。入院時より退院を見据えた看護を実践しており、療養先の調整だけでなく、在宅療養に向けての退院指導、他施設との連携を図って患者さん・ご家族が安心して療養できる環境の提供に努めています。

医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、薬剤師などと連携し、チームで支えています。

病棟が4階にありますので天気の良い日にはデイルームから周防灘のきれいな海を眺めることがで

き、見晴らしが良いので入院中にその景色を見て季 節を感じることができます。

また、病棟内でも季節に応じた飾りつけをして患者さんに季節を感じてもらえるようにしています。

スタッフ全員が、患者さんの目線に合わせた思い やりのあるケアを提供できるよう努めています。







※ご本人の了解を得て掲載





## 呼吸器内科·腫瘍内科

呼吸器内科医長 **坂本 健次** 



呼吸器内科が診療することが多い疾患として、肺がん、悪性胸膜中皮腫などの悪性腫瘍、COPD、間質性肺炎、気管支喘息、非結核性抗酸菌症や肺結核、新型コロナウイルス感染症などが挙げられます。

当院は呼吸器領域で県内最多の病床数があり、多くの方に貢献できるように日々研鑽を積んでおります。

高齢化が進む中で、肺がんなどの悪性腫瘍や、現在は使用禁止となっている石綿(アスベスト)吸入に伴う悪性胸膜中皮腫の発症者数が増加していくと予想されています。

肺がん領域では新しい治療方法が毎年のように 開発されています。悪性胸膜中皮腫も診断が難しい 疾患であり、手術による生検が必要となることも多 く、経験豊富な呼吸器外科医、画像診断医の協力が 必要となります。

当院は「がん薬物療法専門医」の資格を有する医師が4名と県内最多であり、呼吸器外科手術件数も県内有数で、呼吸器領域を専門とした画像診断医、放射線治療医も常時在籍しており、がん診療を専門的に行っています。

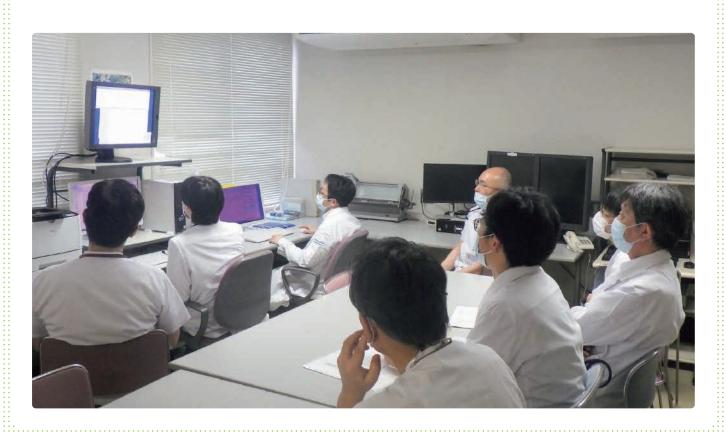
また、悪性腫瘍以外の良性疾患についても患者数

が増えていくと考えられ、多くの呼吸器内科医が診療を行っています。最近、メディアで取り上げられ、ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、非結核性抗酸菌症、COPD、気管支喘息、間質性肺炎など、多くの疾患で新しい治療方法が勧められています。それらの治療には、専門機関で導入することが望ましい方法も有り、当院呼吸器内科が貢献できる領域だと考えています。

具体的には非結核性抗酸菌症に対する「アミカシン吸入療法」、難治性気管支喘息に対する「生物学的製剤の使用」、間質性肺炎に対する「抗線維化薬の内服」などが挙げられます。治療に迷われるような場合は、当院へご相談頂けたらと思います。

その他、当院の特徴として、呼吸器領域の病床数が多いことも有り、外来受診から検査、入院までの日数が短く、比較的スピーディーに診療が行える点が挙げられます。また呼吸リハビリテーションなど、ある程度の入院期間を要する治療を行いやすい点も挙げられます。呼吸器疾患以外の疾病をお持ちの場合は、近隣の医療機関と連携致します。

地域の皆様から頼りにされる病院でありたいと考えており、今後とも宜しくお願い致します。





# 薬剤部

## 副薬剤部長 **林 俊吾**



薬剤部は「身近にいて、頼りになる薬剤師を目指して」というスローガンを掲げ、医療チームの一員として診療に携わっています。

昨今、医療の高度化・個別化が進み、毎年新しい薬が発売されています。安全・安心な医療を届けるために、医療に関わる各職種へ薬の適正使用に関する情報を提供できるよう日々努力しています。そこで、病院薬剤師の仕事について簡単に紹介させていただきます。

- ★調剤業務: 処方せんに基づいて薬を作ることです。薬を飲みやすくするため一緒の袋に入れる一包化や、病院で使用する注射薬の準備などを行います。また、検査値を確認して、患者さんの腎機能に合った薬の量を医師に確認・提案することも調剤時に行っています。
- ★病棟薬剤業務: 入院患者さんのより近くで活動するために、病棟に薬剤師が常駐し、持参された薬を調べたり、入院中に使用される薬の説明を行っています。また、使用された薬の効果や副作用のチェック、必要に応じて薬を主治医へ提案することもあります。
- ★無菌調製:注射薬の中でも特別な取り扱いが必要な抗がん剤などの調製や無菌的な調製が求められる高カロリー輸液を調製しています。
- ★製剤業務:製薬会社で発売されている薬のみでは 十分な治療が出来ない時、病院で薬を作ることが あります。その薬を作る作業を製剤業務といいま す。塗り薬や飲み薬などを作っています。
- ★薬品管理:治療薬の温度・品質管理や適正な在庫 管理を行っています。また、規制薬品(毒薬、麻薬、 向精神薬)は数量管理等を厳格に管理していま す。

- ★治験:新しい薬の開発や適応追加のために病院 で行う試験を「治験」と呼んでいます。その治験薬 の管理・調製も行っています。
- ★チーム医療: 感染対策チームや栄養サポートチーム、化学療法委員会、抗菌薬適正使用支援チーム、緩和ケアチーム、医療安全委員会、褥瘡対策チームなどに参加し活動をしています。
- ★外来患者への服薬指導:難治性非結核抗酸菌症の治療に使う吸入薬では、円滑に導入するための服薬指導、専用吸入器具の提供や使用方法の指導、定期交換が必要な器具の提供を行っています。
- ★がん薬物療法連携充実加算:外来で化学療法治療を継続している患者さんを対象に、レジメン (薬物治療計画)の内容、副作用発現状況、検査値などを記載した化学療法患者情報提供書を患者さんと面談した上で作成し、それを用いて地域の薬局薬剤師と情報共有を行い、質の高い医療提供を行っています。

これからも「身近にいて、頼りになる薬剤師」を目指して頑張っていきますので、よろしくお願い致します。









## 山口宇部医療センター 外来診療担当医表

令和6年5月1日 現在

診療科	概要	月	火	水	木	金
内科新患外来		青江 啓介末竹 諒	近森 研一兼定 晴香	前田忠士	一山 康	角川 智之 沖村 昌俊 (午前のみ) 藤井 哲哉 (午前のみ)
内科紹介外来	1 1 1		亀井 治人	亀井 治人		亀井 治人
内 科	 		石田 浩一	I I I		石田 浩一
呼 吸 器 内 科		坂本 健次兼定 晴香	<ul><li>恐田 尚幸</li><li>久本 優佳里</li><li>渡邉 倫哉</li><li>米澤 恒成</li></ul>	<ul><li>・ 恐田 尚幸</li><li>・ 末竹 諒</li><li>・ 上原 翔</li></ul>	坂本 健次 兼定 晴香 久本 優佳里 渡邉 倫哉	未竹 諒   上原 翔   兼定 晴香   米澤 恒成
腫 瘍 内 科	-   抗がん剤治療   肺がん 等	前田 忠士 近森 研一 宇都宮 利彰 (午後のみ)	青江 啓介	近森 研一	前田 忠士	青江 啓介
画像診断科	画像診断 等		松本常男			松本常男
呼吸器外科新患外来	 	井野川 英利	1	沖田 理貴	岡田真典	
呼吸器外科・外科	肺がん 	沖田 理貴 岡田 真典		井野川 英利 岡田 真典	井野川 英利 沖田 理貴	
乳腺・消化器外科	- 胃がん・ - 大腸がん等 -	平澤 克敏		平澤 克敏 (午前中のみ)		平澤 克敏 (手術で不在の 場合あり)
緩和ケア内科	※完全予約制		小笠原 啓子	1 		
放射線科	   画像診断・   放射線治療 等	田中 伸幸田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎
小 児 科	重症心身障害児(者)  発達障害児  (15歳まで)  ※予約制		奥田 裕美	奥田 裕美		奥田 裕美
精 神 科	てんかん 等	小野 光弘		小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘

#### ※下記診療科は入院患者のみ診療

消	化 器	内	科	内視鏡 等 ※午前中のみ	1			1			1	松本	俊彦	1		
整	形外	ŀ	科	リウマチ・骨粗鬆症 等 ※午前中のみ	 						1			1	藤本	和弘
歯			科	※午後13時~		白石	麻美	1	野田	健人	1			1		
耳鼻	むしん こ	う	科	※午後13時~					西村	省吾	1			1		
神	経内	3	科	· ※午後13時~					神田	創	1					
皮	膚		科	※午後14時~	1			1			-	杉本	紘子	-		

循環器内科	月 (9時30分~12時30分)	佐野 元昭	 	 		
(月・木)	木 (9時30分~12時30分)		 	 	民谷 正輝	

- ●外来受付時間:午前8時30分~11時30分 【外来診療開始時間:午前8時45分~】
  - ※内科新患外来:午前9時30分~11時00分 / 内科紹介外来:午前9時00分~11時00分
- ②再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。
- ③CTの外来紹介は、地域医療連携室(内線2452)までご連絡ください。

、患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで/

地域医療連携室

受付時間/毎週月~金曜日(祝日及び年末年始を除く) 8時30分~17時15分

TEL(0836)58-4100 FAX(0836)58-2938